

山ノ内町デマンド交通の検討について

町の課題

①須賀川地区

- ・長電バス須賀川線の廃止により、楽ちんバス西北部ルートの実行を開始。
→夜間瀬駅での長野電鉄・長電バスへの接続により中野市への移動手段を確保。
- ・旧須賀川線の沿線住民からは中野市への乗り換えなしでの乗り入れの要望が根強い。

②宇木地区

- ・交通空白地であり、地域の高齢化に伴い、将来的な公共交通整備が必要。

③楽ちんバス全体

- ・通勤、通学、買い物、通院等で利用の多い朝の時間帯の便に比べ、お昼の時間帯の利用がほとんどなく、1便あたりの利用者数が0~1人ほどであり、路線の効率化が必要。

中野市への乗り入れ ・ 交通空白地への将来的な対応 ・ 運行の効率化



AI デマンドバスで解決できるか？

- AI 予約・運行管理により、運行を効率化
➡中野市への乗り入れ、交通空白地への対応

デマンド交通検討に向けてのスケジュール

- ・11月頃からの試験運行を目指す
(制度概要設計)→(町分科会、住民説明会)→
(制度詳細設計)→(町分科会、実施地区説明会)→(試験運行開始)
- ・試験運行を行い、効果検証、利用者の意向等を確認のうえ、令和6年度10月からの導入を目標とする。
※あくまでデマンド交通の検討のため、必ずしも本格導入ありきではなく、デマンド交通が山ノ内町にうまくフィットするか否かの検証に重点を置く